



片づけ・整理収納業界が大きく変わる！
一般社団法人日本片づけ整理収納協議会
Japan Council of Organizing（略称 JCO：ジェイコ）

2018年3月1日設立

片づけ・整理収納業界が大きく変わる！

今や、片づけ・整理収納関連の団体は30以上となり、片づけ整理収納を通じて、よりよい暮らし・職場をつくり、幸福度をあげることを目指して活動・運営していますが、それぞれそのアプローチや方法論・概念や定義は多種多様です。

一般社団法人 日本片づけ整理収納協議会は、

片づけ・整理収納関連の仕事の

- (1) 認知度向上へのアクション
- (2) 需要の拡大へのアクション
- (3) 社会的価値の向上へのアクション

を大きな目的とし、片づけ・整理収納関連の仕事を広く認知させるため協力しあい、一団体・一企業では実現が困難な事項に対して業界団体として、国や自治体・学校教育にアプローチしていくことを目指して活動いたします。

片づけの価値、片づけの職業、片づけの資格の 3つのアクションとは

認知度の向上へのアクション

「片づけ=家事における一作業」から「片づけ=プロが活躍するほどの成熟した価値の高い文化」とより多くの人々に認知してもらうアクションが必要だと感じています。

需要の拡大へのアクション

片づけの本当の価値を感じてもらうことが大切だと思うのですが、現存の市場（しじょう）に依存した、需要のみに頼ってはいは、発展性が失われ、いずれ衰退してしまいます。これまでになかった市場（しじょう）を作り、新しい需要を生み、世の中に「もっと必要だ」と感じさせる流れを育てる必要があります。各々で行えばいいのでは？という声もあるとは思いますが、それをしてきた結果が今の状況と考えるのであれば、**今こそ業界全体として動くこと**でこれまで辿り着けなかった可能性に手が届くこともあるのではないかと考えています。

社会的価値の向上へのアクション

必要とする人が増えた時に、**社会的に信用度の高い文化**として形成されていなければ、持続性を失い、一過性のムーブメントとしての広がりでも留まってしまいます。みんなが知っていて、みんなが必要とし、みんなが安心して受け入れられる価値として成長させることが、未来へつなぐ保証になるのではないのでしょうか。

JCO概要 / 取材に関するお問い合わせ先

一般社団法人日本片づけ整理収納協議会

設立日 2018年3月1日

所在地 〒150-0031 東京都渋谷区桜丘23-17 シティコート桜丘408号

WEBSITE <https://jco-web.com/>

メール jimukyoku@jco-web.com

電話 03-3546-9055（平日10:00～17:00）FAX：03-3546-9271



日本一の片づけのプロを決定する 「片づけ大賞2018」 開催決定！！



「片づけ・整理収納のプロ」という職業の普及と認知度の向上を目指した式典
ESSE 第11回『収納&インテリア』グランプリ同時開催

【プロ部門】

全国からエントリーされた片づけのプロのクライアント事例をもとに書類審査を実施後、審査の選考基準で選ばれたファイナリスト（8名）が式典に集結。ステージ上で事例紹介とともに自身の取り組みや想いを発表、日本一の片づけのプロを決定します。

【一般部門】 ESSE「収納&インテリア」グランプリ受賞者紹介

【こども部門】 「片づけ」をテーマとした自由研究課題の発表

開催日

2018年8月22日（水）

会場

中央区立日本橋公会堂
（中央区日本橋蛸殻町）

収容人数

424名（300名想定）

料金

大人 4,000円（税込）/1名
こども 1,000円（税込）/1名
※おとな1名につきこども1名無料

開催概要・申込み

片づけ大賞WEBサイト

<https://www.katazuke-taisho.com/>

こども部門の応募の流れやイベント詳細は
片づけ大賞WEBサイトにてご確認ください

プロ部門 応募の流れ

4月 7日（土）より応募スタート
↓
6月25日（月）応募締め切り
↓
7月25日（水）審査会（一次審査）
↓
7月26日（木）ファイナリスト発表
↓
8月22日（水）式典当日グランプリ決定

一般部門 応募の流れ

4月 7日（土）より応募スタート
↓
7月 6日（金）応募締め切り
↓
7月中旬ブレ取材
↓
7月25日（水）審査会
↓
8月22日（水）式典当日グランプリ発表
↓
8月末～9月上旬全受賞者宅の取材・撮影
↓
ESSE11月号（10/6発売予定）結果発表

【代表理事】（五十音順）



◆小島 弘章
（収納王子コジマジック）
一般社団法人
日本収納検定協会 代表理事

片づけ・収納・住まいに関する確かな知識と実績を持つプロフェッショナルでありながら、松竹芸能で25年の芸歴を積んだ、主婦層に圧倒的な支持を受ける男性ライフスタイル系タレントのバイオニア的存在。著書・監修本は累計35万部を超える。2014年12月には収納と育児・教育・育成を組み合わせた「収育®」を理念として掲げた、一般社団法人日本収納検定協会を設立。そのほか収納グッズの開発やモデルルームの監修など幅広く活躍。



◆澤 一良
一般社団法人
ハウスキーピング協会 副理事長

日本で初めての家事代行業として誕生したミニメイドサービスの創業期、独自のマニュアル企画制作を経験。オリジナルなノウハウをもとに家事支援サービス事業コンサルタントとして企業を多数指導し、成功に導く。2004年に活動を開始したハウスキーピング協会の「整理収納アドバイザー®」の実行責任者。2017年12月末の資格者数は全国で11万名を超える。



◆高原 真由美
一般社団法人
日本ライフオーガナイザー協会
代表理事

株式会社高島屋でインテリアコンサルティング部門の富裕層専門インテリアコーディネーターとして、12年間で600件を超える案件を手がけ年間2億を売り上げるトップセールスとなる。その中で「片づけ・整理」に悩む多くの顧客と自身の整理収納術の調査研究を開始。2008年片づけのプロを育成する協会を設立・起業。思考の整理からはじめるコンサルティング型片づけ支援サービスを提供するプロフェッショナル「ライフオーガナイザー®」を育成、資格認定・起業・就業支援を行っている。9年間で2,000名を超えるプロを育成、19名の著者を輩出。



【名誉会員】（五十音順）



◆飯田 久恵
一般社団法人
日本収納カウンセラー協会 代表理事

1990年日本で初めて整理収納をプロの仕事として確立させる。
多くの方々の片づけ習慣や行動を見つめた上で、行動学、脳科学も独自に研究し誰でも片づけられる理論を見いだす。それを出入れの動き「アクション数」、「歩数」として数値化したり、「行動別分類」、「モノが片づく5つのステップ」などとし、収納提案に活かしている。テレビ出演 NHK「ためしてガッテン」他、著書も多数。



◆辰巳 渚
一般社団法人生活哲学学会代表理事/
一般社団法人家事塾代表理事

お茶の水女子大学文教育学部卒業。星槎大学教育学研究科修了（教育学修士）。生活（暮らし）を人が自立して生きる基本と明言し、「生活哲学」を提唱する暮らしの第一人者。人材育成・次世代育成にも力を入れており、2009年から「家事セラピスト」（暮らしの専門家）、2017年から「生活・地域ファシリテーター」（地域コミュニティの連携役）を養成するほか、全国で「子ども家事塾」を展開している。著書は、130万部のベストセラーとなった『「捨てる！」技術』（宝島社）をはじめ、多数。

【JCO参加団体】（法人種別を除く名称五十音順）

一般社団法人 親・子の片づけ教育研究所 代表理事 澁川真希

「片づけを通じて親と子の人間力を磨く」理念の基、家族内の片づけの悩みを、片づく『仕組みづくり』×『関わり方』で問題を解決する方法を伝えている。

片づけの家庭教育を通じて“選択力、想像力、習慣力”などの子ども達がもともと持っている「生きる力」を引き出す。親の支援力を育む団体。

一般社団法人 家事塾 代表理事 辰巳渚

一般社団法人 家事塾 2008年設立。『「捨てる！」技術』の辰巳渚が主宰。「家のことは生きること」を理念とし、暮らしのプロフェッショナル「家事セラピスト」の育成、次世代に「生きる力」としての家事を伝える「子ども家事塾」などの事業を展開する。家事の理論とスキル、家族や人生を理解する理論等を身につけ、全国で活躍する家事セラピストは11期生300名余。2018年より(株)生活の学校と連携し、家事の事業化を本格化。

特定非営利活動法人 暮らしデザイン研究所 理事長 森下真紀

「福祉×整理収納」・・・発達障害者が強みを最大限に発揮して社会で活躍するためには、住まいや職場といった環境によるストレス軽減が大切です。当法人では、そうした社会課題解決のため、医療・福祉・教育等の各機関とも連携を図りながら、共に支え合う地域社会を目指して活動しています。また、超高齢社会を背景に、近年増加傾向にあるロービジョン者のための整理収納にも取り組みを進めています。

十人十色の部屋づくり推進会 理事 後藤史恵／歌川えつこ

ルームスタイリスト認定講座の認定講師や部屋づくりコンサルをしているルームスタイリスト・プロの会です。自分の好みを生かした部屋づくりの仕方や手軽にインテリアの楽しむコツをお伝えしています。2012年からスタートした認定講座は、模様替えから引っ越し、新築、リフォームまで役立つ講座として2級1級のべ4500名が受講、最上位のプロ資格を持ち当会会員の活動するメンバーは全国に66名います。

スッキリ・ラボ 代表 小松易

日本初のかたづけ士。「かたづけ」を通じて人生を変える」をコンセプトに、経営者や企業向けのコンサルティングや研修・講演を行っている。

日本人が持っている片づけ力を引き出し、日本を元気にするのがミッション。

著書はシリーズ累計47万部『たった1分で人生が変わる片づけの習慣』（KADOKAWA）ほか多数。

最新刊は、『1日1分！お金も時間も貯まる片づけの習慣』（祥伝社）。

テレビ出演にテレビ東京「ガイアの夜明け」など多数。

株式会社 整理収納教育士 代表 魚林佐起子

『子どもの頃からの教育の中で整理収納を伝えていくことが必要』という共通の思いをもった、“整理収納アカデミア”で出会ったスペシャリストが、「整理収納が出来れば「生きる力」「自立力」が育つ」との思いから、子どもにかかわるすべての大人のための整理収納教育専門機関として株式会社整理収納教育士を設立いたしました。未来の社会の子どものために、子どもの自立の為に活動に努めております。

一般社団法人 整理収納マネージャー協会 代表理事 丸山としこ

2016年9月設立。企業の環境美化活動、5S活動などを推進していくリーダー「企業内整理収納マネージャー」講座の開催、運営をしております。日本中の職場に整理収納が文化として根ざすことを目指して、職場の環境改善のファシリテーターの育成、ファイリングなど幅広い知識を提供しています。

一般社団法人 日本収納カウンセラー協会 代表理事 飯田久恵

一般社団法人日本収納カウンセラー協会は、前身(有)ゆとり工房(創設・飯田久恵)として1990年よりお客様の「体質改善的な収納」を行っています。

2005年より、楽に片づけ維持できる「飯田式収納理論」に基づく提案を行う収納のプロフェッショナル「収納カウンセラー」の養成も行っています。多くの方々の「暮らしも仕事も心地よく快適な環境を収納面から支えたい」そのことを目的に日々活動しています。

一般社団法人 日本収納デザイン協会 代表理事 杉田明子

一般社団法人日本収納デザイン協会は、モノがあふれて收拾がつかない状態から起こるさまざまな問題を、片づけ技術の普及により解決することを目的とし発足した団体です。

協会では、捨てない片づけ幸せ収納®を提唱し、物を使う技術、物を選ぶ技術を習得してもらうことで、明るく心豊かな生活や、自分らしい働き方を実現し、日本中に笑顔を増やし続けています。

一般社団法人 日本収納プランナー協会 代表理事 平岡さなえ

一般社団法人日本収納プランナー協会は現状の暮らしの改善や住まいのプランづくりに関する提案を行う住まいと収納のプロである「住空間収納プランナー」を認定しています。

住まい・モノ・環境に対する考え方、ヒアリングや分析の方法、基本的なプランニングを身につけたベーシック：人間工学や建築学、住空間や収納計画など高度な専門ノウハウの理解度や応用力を身につけたエキスパート：セミナー講師を担当するマスターがあります。

一般社団法人 防災備蓄収納プランナー協会 代表理事 長柴美恵

減災を目指し「備蓄は当り前の日本にする」を理念に、「Stock! Beauty & Smart. 正しい知識で美しく収納し備えよう」をスローガンに掲げ、「防災備蓄のための収納を構築するプランナー」の育成を行っています。防災用品を備蓄するだけでなく、万が一のときにすぐに備蓄品が活用できる状態（収納）にすることを目的として活動を行っています。

【理事団体】（法人種別を除く名称五十音順）

一般社団法人 日本収納検定協会 代表理事 小島弘章

一般社団法人日本収納検定協会は、収納術の可能性から広がる明日を育むことを目的とし、収納の知識と技術が学べる「お片づけを楽しむ」ことをコンセプトとして製作した資格「収検®（収納検定）」を中心に、収納の教育推進・能力認定・技術指導を普及させるため2014年に発足した、世界で初めて「収育®」を理念として掲げた団体です。「収育®」とは、収納+育児・教育・育成の考えからなる私たちの合言葉で、「片づけを通して、大人も子どもも幸せに生きる力と知恵を学び育むこと」の総称です。片づけられる子どもを育て、導くことが出来る大人を育て、伝え続けるプロを育てることを目指しています。

一般社団法人 日本ライフオーガナイザー協会 代表理事 高原真由美

片づけのプロを育成する団体として2008年に設立。思考の整理からはじめるコンサルティング型片づけ支援サービスを提供するプロフェッショナル「ライフオーガナイザー®」を育成、資格認定・起業・就業支援を行っている。2011年脳の機能障がい等を起因とする慢性的に片づけられない方をサポートするためのプログラムを導入、2012年片づけのプロの協会の国際連盟に加入、グローバルなプロのネットワークによる専門的なプログラムが特徴。

一般社団法人 ハウスキーピング協会 代表理事 山田長司

家事の社会的価値向上を目的とした様々な活動をしています。

- 1.家庭及び事業所などの整理・収納のノウハウを身につけ、指導アドバイスする整理収納アドバイザーの育成。
- 2.クリンネスト、整理収納アドバイザー、整理収納コンサルタント、などの仕事の場づくり。（家事代行サービス、家事能力を活かしたインストラクター、企業提携など）
- 3.家庭内で孤立しがちな「家事」という仕事を、標準的なレベルを設定すると共に、講座・検定の実施と資格を認定。